

CSR方針

TOYO TIREのサステナビリティ推進（沿革）

2014年

基本方針を策定

TOYO TIREは、一人ひとりが社会との「つながり」を意識して行動し、人と社会に求められる企業であり続けます。

7つの課題(重点テーマ)と達成イメージ(2020年のあるべき姿)を特定

重点テーマ	2020年のあるべき姿
1.製品・サービスの信頼と革新	高い品質と安全性をベースに、環境にやさしい製品・サービスを提供している
2.地球環境への貢献	グループ全体で環境経営を推進している
3.人権と多様性の尊重	国際的な人権意識のもと、多様な人材が活躍している
4.取引先との協働	サプライチェーン全体でCSRに取り組んでいる
5.地域社会との共生	ステークホルダーの声に耳を傾けながら、地域社会の発展に貢献している
6.安全で健康的な職場づくり	安全を最優先に、安心して働ける職場づくりに取り組んでいる
7.ガバナンス・コンプライアンスの強化	常に経営の透明性向上を図りながら、誠実な事業活動を実践している

2014年～2017年 事業環境の加速度的変化→新たな社会的課題の顕在化

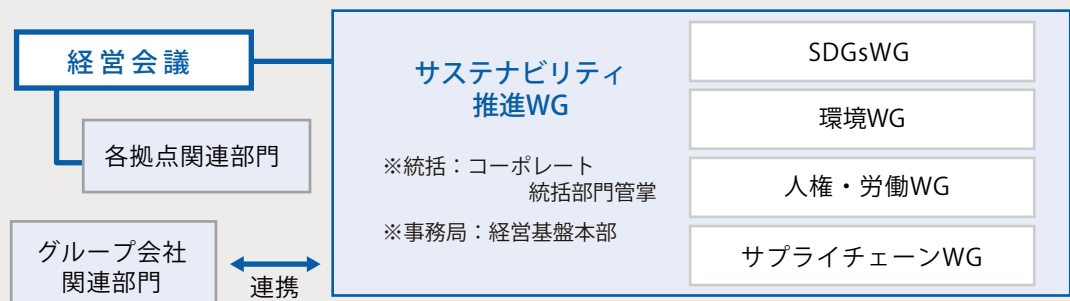
2017年

TOYO TIREのサステナビリティに必要な優先課題を抽出

- 気候変動への対応
- 人権・労働、腐敗防止への対応
- 持続可能な調達責任への対応
- TOYO TIREのSDGs(2030年のあるべき姿)の策定および達成

2018年

サステナビリティ推進ワーキンググループ(WG)の設置



※一部機関名称は2020年4月末時点の名称

2019年

人権・労働に関するグローバル方針を策定

腐敗行為・贈収賄行為の防止に関するグローバル方針を策定

CSR調達ガイドラインを改定(天然ゴム調達方針を策定)

TOYO TIREのSDGs(2030年のあるべき姿)を策定 ※P9-10参照

国連グローバル・コンパクトへ署名

TOYO TIREのステークホルダーエンゲージメント

当社グループは、バリューチェーンの各段階において直接的あるいは間接的に影響が大きいステークホルダーを特定し、ステークホルダーの皆さまの評価や意思決定に対する影響を考慮して、優先課題の検討を行っています。また、ステークホルダーの皆さまとのエンゲージメントの機会を通じて、当社グ

ループに関する情報を正確に、明瞭に発信することで説明責任を果たすよう努力しています。さらに製品、サービスを提供するだけでなく、仕事一つひとつを通じて、満足を超える感動をお客さま(お取引先)や顧客(消費者)にお届けできているかを確認しています。

